



2005 年度事業報告書

2005 年 4 月 1 日から 2006 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 ADRA Japan

1 事業の成果

(1) 国際開発支援

ADRA Japan は「国際開発支援」の実施に際し、支援対象国の ADRA 支部と健全な信頼関係を構築した上で事業を展開していくことを事業実施の基本方針としている。2005 年度は、今までの調査結果をもとに事業支援をおこなった。

ネパールにおける口唇口蓋裂医療チーム派遣は、治安の悪化する中、ネパール人医師との技術交流という、治療だけではなく技術移転を視野に入れたプロジェクトを展開することができた。

残念なのは開発支援において、外務省 NGO 支援無償といったファンドがなかなか承認されずに、現地の必要性に応えることができないことである。募金活動だけでまかなうには金額が大きく、公的資金への申請は今後団体として方向性を考えていかなければならない。

近年、自然災害の多さに対応が間に合わないほどである。8 月には大型ハリケーン・カトリーナが、米国南東部を襲った。ADRA の本部がある米国では、支持母体である SDA 教会が中心になり支援活動を展開。ADRA Japan も ADRA ネットワークの呼び掛けに応じ資金支援をおこなった。10 月パキスタンを襲った地震に対しては、ADRA ネットワークを通じ、現地支部である ADRA Pakistan の事業に対して資金支援をおこなった。

また、2005 年度は人的災害への対応を行なう 1 年にもなった。人類史上最悪の人道危機といわれるスーダン・ダルフルにおける事業に対して、JPF からの資金を得、日本人スタッフを派遣し、事業を展開した。

(2) 人材育成

2004 年度と同じ場所で、モンゴル学校建設プロジェクトに参加する形で、ボランティア派遣プロジェクトをおこなった。学期中ということもあり、4

人の参加者であったが、参加者にとっても村人にとっても再会できた喜びは大きく、大変中身の濃い交流プログラムを持つことができた。今後、この学校を中心に日本の子供達との交流が検討されている。

8月には、三育学院専攻科の海外研修の場として、ミャンマーでの保健教育プログラムを提供した。参加者は途上国における保健医療を学ぶことによって、更に視野を広げることができたと思われる。参加者、学校からも高い評価をいただいた。

9月には、コソボから中学生7人、教師3人、通訳1人を迎え、日本国内で交流プログラムをおこなった。茨城では、北浦三育中学校の寮に泊まり、体育祭に参加。愛知県では「愛・地球博」、大学生によって京都案内、広島では、広島三育学院、宇品中学校を中心に多くの方々との交わりがありました。コソボの子供達にとって、広島原爆記念館などの訪問は辛いものもあったが、今の日本の発展を見ることは彼らにとって大きな希望になっただろう。また、戦争を知らない、語り伝えられている日本の中学生と戦争を体験したコソボの中学生との交流によって、お互いに平和というものを考えることができたのではないかと思う。UNICEF と共催で「紛争中・後における教育～平和構築と人間の安全保障へ向けて」というシンポジウムもおこなうことができた。この活動は多くの新聞にも取り上げられ、海外での活動が中心となっている ADRA Japan にとっても大きなプログラムとなった。

2005年3月には、同じく三育学院のボランティアグループを中心とした学生たちによって、ベトナムでの保健教育プログラムをおこなった。同時期にコソボでのボランティアプログラムを企画していたが、コソボの治安悪化により実施できなかったのが残念である。

また、積極的に教育機関の受け入れ、訪問を行なった。(小学校3校、中学校5校、高校1校、大学院1校)

(3) 啓発活動

季刊誌「ADRA News」を4回、年次報告書の発行。

毎週末には ADRA の支持母体であるセブンスデー・アドベンチスト教会において、プロジェクト報告会をおこなった。

ネパール口唇口蓋裂医療プロジェクトにあわせ、プロジェクト視察ツアーを計画していたが、治安の悪化により、支援者に ADRA の活動現場を見ていただけなかったことが残念である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	
開発支援事業							
開発途上国における支援の必要な人々への開発支援事業	口唇口蓋裂医療チーム派遣	2005/11 ～ 2005/12	ネパール バネパ市	3人	参加医療者 23人、 口唇口蓋裂 54人他 5人とその家族、ネ パール人医師 6人	8,866	ADRA センターでの手術、公開手術、ネパール人医師との意見交換等実施。
	Health Post 建設事業	申請中	ネパール	2人		40	2004/9 外務省 NGO 支援無償に申請書提出 外務省からの質問には全て対応済み。申請 結果待ちの状態が続いている。
	学校建設と教育制度支援 事業		ネパール				Health Post 建設事業と並行して調査をおこ ない事業立案する予定だったため、未実 施。
	スポンサーシップ	通年	ネパール	2人	学童児 54人	431	日本の支援者は増える傾向であるがネパール 情勢不安定のため学校との連絡が難しく なっていたが、クリスマスカード、成績表 を支援者に送ることができた。
	HIV/AIDS 予防教育事業	通年	タイ	1人			国連に申請した ADRA Thailand と SHARE と の共同事業に ADRA Japan からアシスタント (インターン) を送る予定だったが、未実 施。
	開発事業支援		タイ	1人		70	農業事業の視察をおこない、今後の支援の 検討をおこなった。
	小規模公共施設建設	2005/9 ～ 2006/3	カンボジア	1人	小学校 11校	912	小学校にトイレ及び雨水を集めるための水 槽を設置

水供給プロジェクト		カンボジア				未実施
開発支援事業		インド				インド洋大津波の支援をインドで緊急に実施したため、開発支援事業は未実施。
津波被害復興支援事業		インド				インド洋大津波の支援を緊急で実施。開発支援ではなく、緊急救援事業に移動（緊急救援事業欄参照）。
学校建設	2005/5 ～ 2005/10	モンゴル ウブス県	3人	小学生児童 120人及 びその家族	1,705	2004年度に事業開始。冬期は休止し、2005/5から建設開始。未完成の部分はあったが6月に贈呈式を実施。9月末に完成。
開発事業支援		ラオス	1人		70	支援活動のための調査をおこなった。
リサイクル自転車贈与	2005/10	ラオス	2人	学生 70人	1,160	10月に70台輸送。最終的に500台送る予定。自転車の整備、輸送費及び輸送手続きは（特活）世田谷アジアプロジェクトが行なった。
水の確保と食糧確保技術 移転事業		ミャンマー	1人		601	JICA Fundへ申請。1回目は不採択となり、2006年6月に再申請のための準備をすすめている。
経済自立支援		ミャンマー	1人			未実施
貧困削減事業		ミャンマー	1人			未実施
支部支援		ミャンマー	1人		350	JICA Fundによるプロジェクト運営に備えて、支部の運営能力を向上させるための研修を実施。
緊急支援事業・復興事業						

自然災害、飢餓、及び戦争等による被災民や難民などへの緊急支援事業及び復興支援事業	スマトラ沖地震・津波救援 PhaseIII (リトル・アンダマン緊急救援)	2004/3 ～ 2005/11	インド リトル・アンダマン	2人	地震。津波被災者 約8,000人	22,455	ジャパン・プラットフォーム (JPF) の支援を受け ADRA India との協力の下、仮設住宅、井戸、保健所建設、伝染病予防教育をおこなった。
	スーダン・ダルフルール緊急支援 PhaseI (水供給)	2005/4 ～ 2006/2	スーダン 西ダルフルール	3人	地域住民 約10,000人	77,339	JPF 資金により ADRA Sudan との協力の下、史上最悪の人道危機といわれるダルフルールにおいて井戸建設 (新規 19 本、修繕 80 本) をおこなった。2006/2/28 事業終了。
	スーダン・ダルフルール緊急支援 PhaseII		スーダン 西ダルフルール				PhaseI の事業が 2 月末までかかったために未着手。
	米国ハリケーン (カトリーナ) 被災者支援	2005/9 ～	米国南東部	2人		591	米国南東部を襲ったハリケーン・カトリーナ。ADRA ネットワークで SDA 教会がおこなった被災者支援をサポート。
	パキスタン地震被災者支援	2005/10 ～	パキスタン 北東部	2人		476	10/8、パキスタン北東部を襲った地震被災者支援。ADRA ネットワークを通じて支援。
人材育成事業							
国際協力を通し学生・社会人に対する国際人としての人材育成事業	看護科・専攻科研修	2005/7 ～ 2005/8	ミャンマー	2人	参加者7人 地域住民	1,719	三育学院専攻科の海外実習の場を提供。ミャンマーにて保健教育等をおこなう。
	ボランティア派遣事業－ 学校建設の補助及び地域 住民との交流	2005/6	モンゴル	2人	参加者4人 地域住民	1,901	昨年と同じ学校建設の場で学校建設の補助及び交流をおこなった。2年連続となったことで、更に深い学びと交わりをおこなうことができた。
	日本人ボランティア派遣 事業－保健教育と調査	2005/3	ベトナム	3人	参加者7人 地域住民	1,758	三育学院のボランティアグループ (LIA) を中心にベトナムで保健衛生ボランティア活動をおこなう。
	学校交流事業－コソボ学 生来日	2005/9	日本	3人	コソボ学生教師 11 人、日本の参加者約 1,000人	4,397	コソボから中学生 7 人、教師 3 人、通訳を招き、茨城、愛知、京都、広島、東京で交流をおこなった。
	国内インターンシップ受 け入れ	通年	東京事務局	2人	インターン 2 人		2 人のインターンを受け入れ

	教育機関の受け入れ、授業や講演	随時	日本	2人	小学校3校 中学校5校 高校1校 大学院1校 その他1ヶ所		
国内啓発・広報事業							
国際協力に関する日本の社会への啓発と広報事業	季刊誌（ADRA News）の発行	年4回	東京事務局	5人	会員・他購読者 12,000人	1,422	
	イベントへの参加ー国際協力フェスティバル等	5月 10月	NHKホール 日比谷公園	5人	来場者約1,000人	15	難民支援チャリティコンサート「じゃがいもの会」、「グローバル・フェスタ」に参加し、啓発活動をおこなった
	資料作成ーパンフレット、パネル、ビデオ		東京事務局	5人	支援者及び国際協力に興味のある約5,000人	145	コソボ学校交流、インド洋の津波支援のビデオを作成
	プロジェクト報告会		日本各地 30箇所	3人	参加者約1,000人	863	
	プロジェクト視察ツアー		ネパール	2人			治安悪化のため中止

(2) その他の事業

なし